

「絵本サポーター2021」の募集について

NPO 法人ふるすあるは

【募集人数】

10名

【活動内容】

- 1) 絵本を活用します
- 2) 活用状況についてふるすあるはへフィードバックを行います

【絵本の活用場所や活用方法について】

プロジェクトの趣旨に添う範囲で自由にご活用ください。

例えば…

- ・複数の子どもたち/親御さんたちが手に取れるところに置く。

例) 学校(保健室、相談室、図書室、職員室など)、子ども食堂、フリースクール、子どもの居場所、児童館、保育園、子育て支援機関、医療機関、児童福祉機関、保健機関など

- ・子ども/親御さんに直接絵本を贈る、渡す。
- ・一箇所に複数冊の設置も ok です。

例) 3冊は子どもにプレゼント、2冊はその場に貸し出し用に設置。

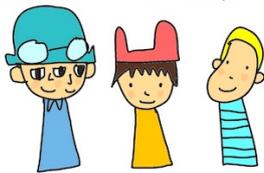
学校で図書室と相談室と保健室と職員室に2冊。など。組み合わせていただいても ok です。

- ・何人かの養護教諭でわけて複数の学校に設置、といった活用も ok です。
- ・ご自身の勤務先や関わっている場だけでなく、どこかへ寄贈することも ok です。その際には、寄贈先に絵本の設置の同意をとってください。

※使い方を具体的にイメージして、応募フォームに記入いただきます。

用途を限定する意図はなく、自由にいろんなアイデアがひろがるとよいなと思っています。ご不明点は気軽にお尋ねください。

本を届けてくれると嬉しいな
ていじやないてあがるておとちびでさる



【ひとこと】

「子どもたちが自分で本を買うことは難しいです。子どもたちが手にとれるように、子どもたちへ絵本を届けるのは大人の役割。いろんな大人の方が子どもたちの応援に参加して下さったら心強いなと思い、このプロジェクトを企画しました。10冊と少しまとまった数にしているのは、そこが拠点になって、地域（でなくてもよいですがそのエリア）で、広がりや繋がりのある取り組みになるように。これまでに寄贈のプロジェクトは、贈りっぱなしが多かったところ、フィードバックをいただくことで双方向性の取り組みにします。そこからさらに絵本が広がることを目指します。」

【スケジュール】

- ・2021/6/1(火) -6/30(水) 「絵本サポーター」募集期間
- ・7/15頃 10名を決定、応募いただいたみなさまへ結果をメールでお知らせ
- ・7/20頃 絵本サポーターへ絵本を発送
- ・9/15まで 活用場所、活用状況をぶるすあるはへフィードバックください
- ・10月中頃 プロジェクトサイトでレポートを公開

【フィードバックとサイトでの公開について】

いただいたフィードバックをもとに、絵本の活用場所、活用方法について、プロジェクトレポートをサイトで公開し、寄付者のみなさまへお礼のご報告をします。

※公開する内容は状況にあわせて個別に相談しますが、都道府県と活動領域（病院、保健室、子ども食堂など）は公表します。

【「絵本サポーター」の選び方について】

応募内容をもとに、ぶるすあるはスタッフと外部の協力者で話し合い決定します。全ての応募にお答えできるわけではありませんので、あらかじめご了承ください。

メンバー

- ・加藤雅江さん（杏林大学教授・精神保健福祉士）
- ・秋元恵一郎さん（東京ダルクスタッフ）
- ・チアキ（ぶるすあるは）
- ・事務局（ぶるすあるは）

【報酬について】

金銭的な報酬はありません。

絵本の活用に費用（交通費、送料など）がかかった場合はご負担いただきます。

